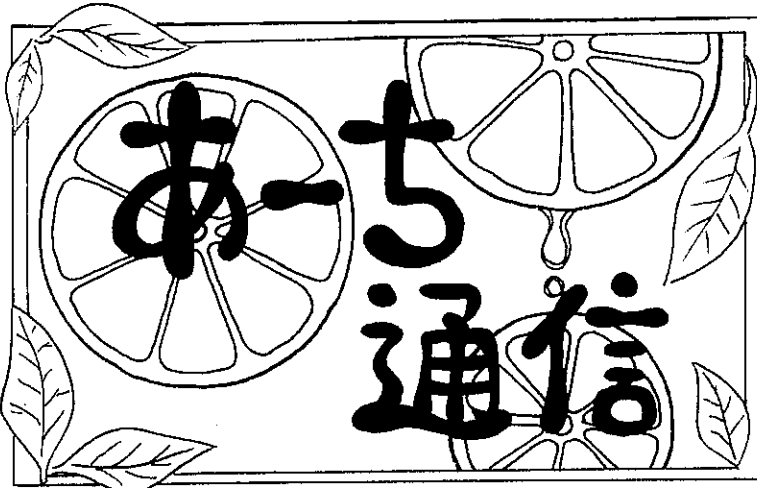


神戸大学大学院サテライト施設
「のびやかスペース あーち」
〒657-0057 神戸市灘区神ノ木通 3-6-18
TEL & FAX 078-805-6090 [開館：火～土曜日]
Email arch@h.kobe-u.ac.jp
http://www2.kobe-u.ac.jp/~zda/arch-prep.html

神戸大学大学院人間発達環境学研究所
ヒューマン・コミュニティ創成研究センター
〒657-8501 神戸市灘区鶴甲 3-11
TEL 078-803-7970 FAX 078-803-7971

えんじえる君 by Bon



パパと遊ぼう！

日時：2月15日（土）午前11時30分～
場所：ふらっと・あーち

保育士さんがやって来て、子どもさんとの遊び方、絵本の活用方法など、いろんなことを教えてくれます。

ぜひ、ご家族でご参加ください！

「ほく そらをさわってみたいんだ」

作：さとうわきこ 絵：岩井田治行
出版社：ポプラ社
発行日：1986年8月



「そらってつめたいのかな、あったかいのかな」

空をさわってみたいねこさんは、動物のなかまたちに協力してもらい、高い空の上をめざします。みんなの背中ではしごを作り、ねこさんは少しずつ空の近くへ。続々と登場するなかまのおかげで、とうとう空に手が届きます。しかし、そのとき空から降ってきたものとは・・・？

めずらしい縦びらきの絵本は、空までの高さを感じさせます。やわらかに描かれた絵の中に、動物たちの優しさと不思議な空の体験を楽しめる絵本です！

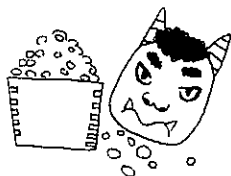
（神戸大学 発達科学部 人間形成学科3年 岩倉希）

予告

第6回「いのちをつなぐイベント」in 神戸 《ちいちゃんのかげおくり》の時代にタイムスリップ！

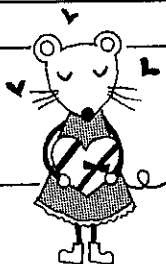
日時：3月1日（土）～7日（金）※2日（日）、3日（月）は休館日
場所：こらぼ・あーち

「神戸大空襲」から年月がたち、体験が語られる機会も少なくなる中、次世代へその記憶をつないでいくためにも、子どもからおとなまで幅広い年代の方々にご覧いただきたい企画展です。



2月 予 定 表



		こらぼあーち	あーとあーち	ふらっとあーち
1	土	おはなしの国 1時30分～2時		
2	日	休 館		
3	月			
4	火		あーち人形劇団「むー」企画会議 1時30分～	おひさまひろばあーち 午前中
5	水			
6	木	みんなで歌おう 午前中 おくちをあーん!! 1時30分～2時10分		
7	金	親子わらべ歌あそび 11時20分～ 居場所づくり 3時～6時		
8	土	人形劇セミナー 2時～3時30分		
9	日	休 館		
10	月			
11	火			
12	水	ほのぼの音ランド 11時20分～ あーち通信編集会議 2時～		
13	木		筆をもとう 1時～2時30分	ベビーマッサージ (はいはい) 11時～
14	金	居場所づくり 3時～6時		
15	土	ぽっとらっく (予約制) 午後		紙芝居 11時～ パパと遊ぼう! 11時30分～12時
16	日	休 館		
17	月			
18	火	ピーナッツ(申込制) 10時30分～12時	あーち人形劇団「むー」企画会議 1時30分～	おひさまひろばあーち 午前中
19	水			
20	木	あーち♥ビギナーズ交流会 (予約制) (6か月未満のお子さん) 1時30分～3時	めだか親子クラブ 2時30分～	
21	金	居場所づくり 3時～6時	アートセラピー 3時30分～5時	
22	土	音楽の広場 2時30分～		
23	日	休 館		
24	月			
25	火			おひさまひろばあーち 午前中
26	水	いのちをつなぐイベント(準備)		おしゃべりほっとタイム 11時～
27	木	いのちをつなぐイベント(準備)	筆をもとう 1時～2時30分	ベビーマッサージ (ねんね) 11時～
28	金	いのちをつなぐイベント(準備) 居場所づくり 3時～6時 / らくがきおばさんがやってきた 3時30分～		

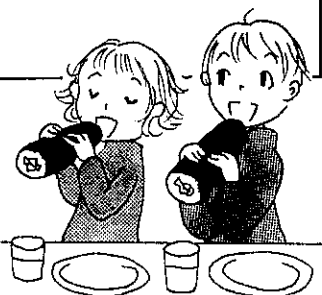
・太字のプログラムは今月の特別プログラムです。

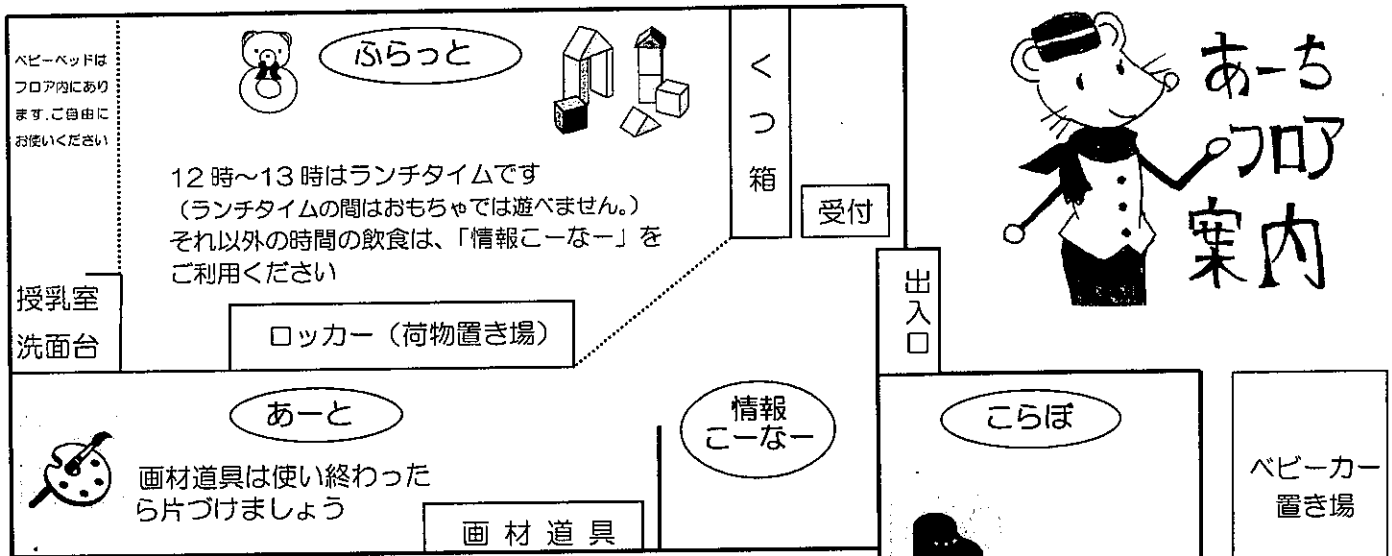
・予約制以外の、どのプログラムも参加(見学)することができます。

・プログラム参加の年齢制限はありません。内容など詳細は受付までお問合せください。

・「ベビーマッサージ」にご参加の方は、バスタオルを1枚お持ちください。

・「アートセラピー」「らくがきおばさんがやってきた」は汚れてもいい服装でご参加ください。





～お気軽にお声をかけてください～

<くらっと相談員>

火曜 午前 保育士
午後 灘区地域活動支援コーディネーター (13:00～15:00)
水曜 午前 NPO 法人マザーズサポーター協会 (第4水)
木曜 午前 灘区地域活動支援コーディネーター
助産師 (月2回)
金曜 全日 発達相談員 (11:00～16:00)
土曜 全日 元母子相談員
午前 助産師 (第2土)
不定期 歯科医師 臨床発達心理士
※詳細は受付へお問い合わせください。

プログラムがない時はピアノを弾くことができます (受付までお申出ください)

あーちのルール

- ☆オムツやゴミはお持ち帰りください
- ☆託児はできません
- ☆就学前のお子さんが遊ぶときは、保護者の付添いが必要です

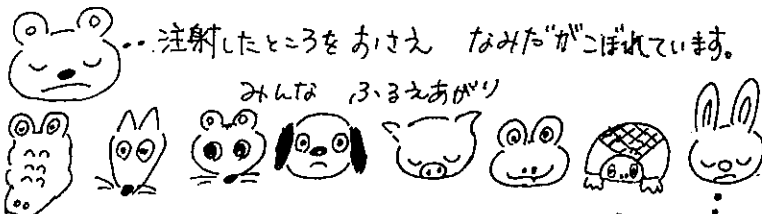
『つぎはわたしのばん』

いもとようこ 作
金の屋社
2013年9月

さあて 何の順番でしょう。

あいさつの待合室。

いつもは にぎやかな くまぐ。



どうしたと 思いますか？

『つぎはわたしのばん』 ドキドキ。みみちゃんしんぞうははやくしろう。しんぞうは フラつきながら入っていました。みみちゃんは どうだったかしら？



予防接種行く前に
あちつかせてあげる1冊に
いかがでしょう。

浜家

ごろんごろんで見上げれば

第八話 雪の匂いに誘われて

ゆきはな

山奥で野山を駆け回って育っていた私は、小学6年生の時何を思ったか、通学に2時間ほどかかる遠い街の中高一貫校を受験しその後6年間通い続けることになりました。何せ、自然環境の厳しい所からの出発です。特に冬の間は大変でした。雪が積もれば母が道路の雪を掻き、凍った車のドアを開けるためにお湯を運び、まるで歩くようなスピードで父が運転して何とか駅へ着いて列車に飛び乗り学校のある街に着くと、お日様がさんさん。雪など全く見当たりません。履いてきた雪用のブーツがやけに重たかったことを覚えています。

雪や雨には強く、滅多に遅れたりしない通学列車には、しかし思わぬ弱点がありました。それは線路に飛び出してくる鹿や牛の存在です。急ブレーキで止まったときは大抵「鹿にぶつかりました。しばらくお待ち下さい」とアナウンスが入ります。こうなれば、じっと車中で運転再開を待つしかありません。列車のダイヤは一時間に一本。ウィンドウショッピングなんてしながらのんびり帰る都会に住む友人たちにとって、変な理由で遅刻したり、放課後になれば脇目も振らず駅へ向かう私の姿はとても不思議に映っていたようですが、いつ野生動物によるアクシデントに見舞われるかわからないので、私はいつも必死でした。

こんな感じの青春時代には良い思い出よりもしんどさの方が大きく、卒業後は母校を訪ねることもなかったのですが、奇遇なことに夫の実家が母校の近くにあり、結婚してからは年に数回その街に行くようになりました。今年のお正月は大晦日から娘が風邪をこじらせたので2週間近く夫の実家にお世話になりました。母校の横にある病院へ娘を連れて行ったり、かつての通学路を散歩したりしていると、懐かしい制服を着た女の子たちとすれ違います。時が止まったかのように全く変わらないその制服を眺めていると、思い出すのはしんどさではなく、懐かしい匂いでした。やっと家へ着いた夜のはじめ頃、車から降りて吸い込む澄んだ空気。雪の匂い。土の感触。家に入ればきょうだいたちに会える嬉しさ。そんな匂いにふわっと包まれて、身体中が喜んでいました。

今回は娘の大事を取って、私の実家へは帰省しませんでした。記憶をたどって家へ帰ったような気がしています。

